



DAISAN FILMS CONVERTING CO.,LTD.

## 大三紙業株式会社

本社 豊橋市雲谷町外ノ谷55-1(深田池工場) 〒441-3104  
TEL:0532(41)5111(代) FAX:0532(41)5118

東京事業所 東京都千代田区鍛冶町1-8-1 千代田K-1ビル9F 〒101-0044  
TEL:03(5297)7555(代) FAX:03(5297)7557

大阪事業所 大阪市淀川区宮原4-4-2-518 〒532-0003  
TEL:06(4807)7050(代) FAX:06(4807)7051

財務課 豊橋市神明町52 〒440-0882  
TEL:0532(54)5588(代) FAX:0532(54)5589

大池工場 豊橋市向山町伝馬2 〒440-0864  
TEL:0532(61)0141(代) FAX:0532(61)0142

平山池工場 豊橋市豊清町比舍古1-53 〒441-3115  
TEL:0532(41)7851(代) FAX:0532(41)7852

天津工場 天津大三易得力工業有限公司  
中国・天津市東麗經濟開發区三經路  
TEL:86-22(2499)1948 FAX:86-22(2499)2137

URL <http://www.daisan.com/>

## Next Stage

# お客様に喜ばれる、 ユニークな存在を目指して。

真に豊かな暮らしが求められる時代に、安全でより快適な製品をお届けすることは欠かすことができません。ニーズはその時代を映す鏡であり、それに答えることが新たなアイデアや技術を生み出す力になると考えます。DAISANは総合的な一貫加工のできるコンバーターとして、暮らしのすぐそばにある食品や農産物のパッケージをはじめ、普段は目に触れることのない工業製品や建築材料の部材に至るまで、幅広い分野でさまざまなニーズにお応えしています。

2007年末に完成した新工場によって、分散した工場機能を集約し、

物流の合理化を図るとともに防塵防虫などの衛生環境を整備しました。さらに、VOC処理装置による排気ガスの完全クリーン化や、VOC熱処理余剰熱のエネルギー回収、さらには飲料水以外の雨水利用など環境対策への取り組みを行いました。

DAISANは、これらのインフラを最大限活かし、「モノを包み保護するパッケージ機能に必要なことは何か」、「フィルム等の基材に求められる付加機能とは何か」を常に考え、お客様のニーズに柔軟に対応するユニークで強い会社を目指しています。

## 経営理念

DAISANはお客様のご満足をわが社の喜びとし、社員とともども繁栄する“三方よし”の経営を通じて、広く社会に貢献することを念願としています。

お客様の利益を考え、お客様の立場にたって、技術・品質の向上、創意工夫を図ります。

社員の利益を考え、昨日よりは今日、今日よりは明日と豊かな生活を求めて、努力します。

わが社の利益を考え、わが社の生々発展が、明るい未来を切り開くもの信じ、全力を尽くします。



# 安心・安全、 そしてCSRへの取り組み。

身近な暮らしの中で、製品を通じてお役に立てる存在であり続けることがDAISANの願いです。それにはいかに安全な製品を安定的にお届けするかが、信頼をいただけるための使命だと考えています。例えば、食品、農産物などパッケージに関わるため、品質管理はもちろんのこと、防塵防虫をはじめとする衛生管理にも最新のシステムを取り入れています。

また、もうひとつの大きな使命は、製造工程における環境対策です。DAISANの本社工場は1975年稼働当時から県の環境緑化のモデル工場に指定されるなど、環境保全につとめ評価をいただけてきました。最近ではVOC処理装置をはじめ雨水の再利用など、環境負荷を軽減するための配慮に積極的に取り組んでいます。

# 適応力。

## 衛生管理

### ■クリーンルーム

新工場内では空調コントロールによって陽圧環境を維持しております。更に高度な清浄環境が要求される製品に対してクラス10,000性能のクリーンルームでの仕上げ加工が、対応可能になっております。

### ■安全な製品をお届けするために

DAISANでは、お客様にお届けする製品の安全確保は、最優先されるものと考えております。昨今の厳しいお客様のニーズに応え、安全な製品をお届けするという社会的責任を果たすためにも、衛生面に配慮した環境で製造しています。

### ■衛生面での取り組み

DAISANでは、衛生的な環境で製品作りを行うために、様々な取り組みを実施しています。

### ■出入り口で物・人をセパレート

各工場出入り口を、材料と人に分けて、異物混入を防止しています。

### ■衛生的な服装

服装は静電気防止したもので、衛生的なものを使用しています。毛髪混入防止のため、ネット付きの帽子を用い、外からは見えないようにしています。

### ■手指の殺菌・消毒

各工場への出入り口では、手、指の汚れを落とし、ジェットタオルで乾燥させた後、アルコール消毒します。

### ■エアージャワーによる付着物の除去

手洗い終了後に、エアージャワー室にて埃や付着物を除去します。これらの過程を経て、工場へ初めて入場できます。

### ■製品の安全性確認

DAISANでは、衛生面に配慮された原材料を使用し、そのものを衛生的な環境で加工することで、安全な製品をお届けしております。安全な製品であることは、食品衛生法に基づき、各種試験に合格していることで証明されています。



- 01 工場入場前室
- 02 原材料前室
- 03 クリーンルーム クラス10,000
- 04 VOC対策
- 05 本社深田池工場

## 環境保全

### ■VOC対策による環境負荷低減

本社深田池工場は2007年11月に新工場を増設し、これに伴い工場排気を回収・再利用する装置を完備いたしました。またこの装置により回収した排気をガス処理設備により再燃焼させることで工場内動力等への再利用を行っています。

### ■雨水の再利用

2007年に竣工した新工場では積極的に環境負荷低減をするために雨水使用にも取り組み、工場で使用される飲料用以外の水使用に雨水を貯蔵し利用しています。

### ■本社深田池工場

本社深田池工場は、1976年に完成、稼働を開始した頃から時代に先駆け、無公害、環境保全、省資源を目的にプランニングされ今日に至っています。千本にものぼる木々と数百トンの庭石からなる日本庭園を持つ“公園工場”は1981年に愛知県指定環境緑化モデル

工場に指定されています。

### ■製造時の廃棄物削減

DAISANの製品製造時には、加工する上で各種のプラスチック廃棄物が発生します。これらの発生量の増加も環境負荷の大きな要因となります。

このような問題への対応として、製造部門は製造ロス発生量の削減目標を掲げて取り組んでおります。また、やむを得ず発生する廃棄物に関しても、各種プラスチック種類に分別回収し、容易にリサイクル可能な状態にするよう取り組んでいます。

### ■各種法令の遵守

より良い製品を提供する事と、環境を守っていく事は企業の使命でもあります。これら企業責任を果たしていく上で、各種条例や条件への対応も求められております。「容器リサイクル法」への申請や、工場廃水や廃棄にも細心の注意を払い対応しています。

# 商品を守る × 機能を付加する

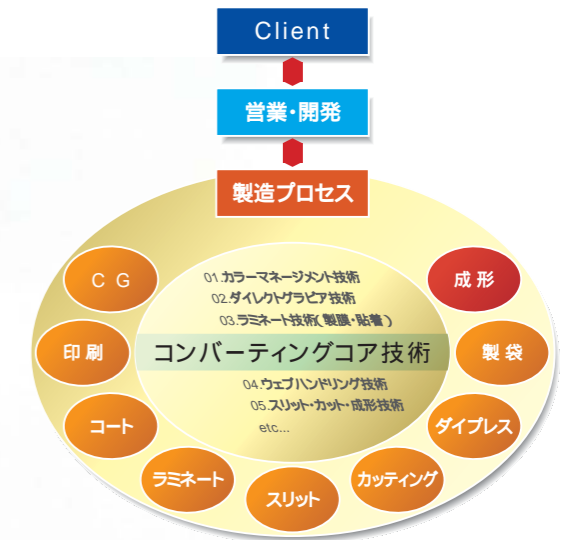
1938年、洋紙の販売を生業とし創業し、パッケージ分野の重要性を先んじて以来、70年以上にわたり時代とともに歩んできました。1961年に製版、グラビア印刷の加工設備を導入し軟包装資材のコンバーターとして業界に進出してからは、主に食品のパッケージの製造分野でグラビア特殊印刷、ラミネート加工技術、あるいはスリットや断裁といったウェブハンドリングの技術を蓄積してまいりました。

DAISANは、商品を含み保護すると同時に、消費者が求める商品の情報を正確に伝えることが要求されるパッケージング機能の分野において、デザイン～製版～最終加工までの一貫した社内加工設備と、

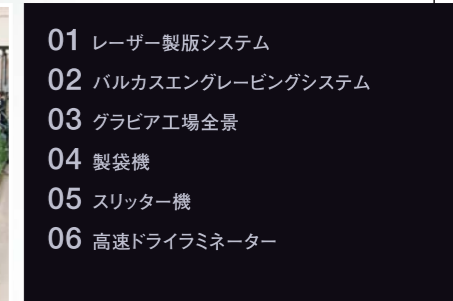
情報システムを駆使した高度なデリバリー体制を整え、お客様のあらゆるニーズにお応えします。今後も、高解像度高品位なカラー印刷技術、パッケージの中身を保護するために新たな基材を複合する技術、食の安心安全を保障する衛生管理とトレーサビリティを提供する技術、等々を磨くことによりさらに高度なパッケージ機能の付加を目指します。さらにコンバーターの加工技術の蓄積は、時代とともにより幅の広い基材へのより高度な付加機能を生み出すことを可能にします。ダイレクトグラビアの技術の応用は、剥離、導電、帯電防止、可視といった付加機能をもたらす加工が可能です。また、色や図柄を扱う印刷技術は、

パターンコート、着色、遮光などの機能を付加することを可能にします。さらに、ウェブハンドリング技術の応用により、極薄基材の加工、見当をコントロールしたカット、ダイカット、あるいは特殊製袋加工などが可能になりました。

DAISANは、これまでのコンバーターとして蓄積した技術、加工設備を最大限に活かし、食品向けパッケージをはじめ、電子工業品や建築材の部材にいたるまで、私たちに生活の中で欠くことのできない製品を幅広く提供することを目指します。



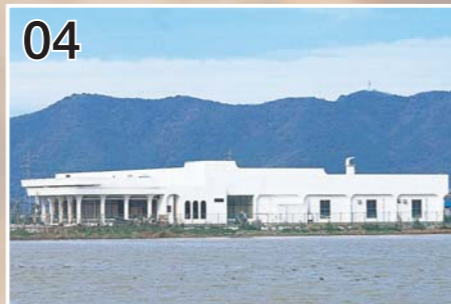
# 創造力。



- 01 レーザー製版システム
- 02 バルカスエングレーピングシステム
- 03 グラビア工場全景
- 04 製袋機
- 05 スリッター機
- 06 高速ドライラミネーター

# 総合力。

DAISANは創業以来、常に時代やニーズに合わせて最新の設備と生産拠点を整え、進化を遂げてきました。現在、本社メイン工場を始め、それぞれの拠点での利点を活かしたネットワークの構築を計っています。1995年より稼働した中国天津工場では、本社工場との連携のもとアジア全体の展開を目指しています。これら各工程に特化した生産拠点の連携は、まるでミツバチの社会に見られるような役割の分担と、機能の連携にも似た、スピーディで的確なフットワークで多様化するニーズへの対応に備え、これからも進化を続けていきます。



- 01 本社深田池工場
- 02 財務課
- 03 大池工場
- 04 平山池工場
- 05 中国天津工場

## ■本社深田池工場 [愛知県豊橋市]

DAISANのメイン工場であるこの本社深田池工場は、営業、業務部門をはじめ各生産部門が集約されており、入稿から出荷までの一貫加工が可能です。環境には特に配慮がなされ、各種排水処理システムが設置されています。各工場の物流の出入り口は必ず前室、エアーカーテンが装備され、人の出入り口にはエアーシャワー等を設置し衛生上も十分な配慮がなされており、軟包装衛生協議会のGMPの認定工場にもなっています。全生産工程の現場には冷暖房の空調はもちろん、フロアに床暖房が設置され、最高の労働環境を提供しています。

## ■財務課 [愛知県豊橋市]

DAISAN発祥の地である財務課の建物は、天然檜の天井、大昔の金庫など古き良き部分を残しながら、1994年に豊橋市の景観形成計画の第1号として改築されました。ここには、財務課がおかれています。

## ■平山池工場 [愛知県豊橋市]

1989年に開設され、シート成形の生産拠点が集約されています。最新の設備とコンバーターとしての利点を活かし、他に類を見ない一貫加工で様々なアドバンテージを提供しています。そしてここでも環境、衛生面ではできる限りの配慮がなされています。

## ■大池工場 [愛知県豊橋市]

向山公園と呼ばれる公園に面した大池工場は、1961年に軟包装資材加工工場として業界に先駆けて開設。当時の主力工場であった大池工場は、現在製袋、断裁加工の軽作業の加工工場となっている他、会長室、総務課が事務所機能としておかれています。

## ■天津工場 [中国・天津市東麗経済開発区]

1995年に香港との合併で、天津大三易得力工業有限公司を設立。

この天津大三易得力工業有限公司は、印刷機、ドライラミネーター、押し出しタンデムラミネーター、スリット、製袋のラインをそろえ、首都北京を中心とする北京天津経済圏の海の玄関である天津新港から30分、天津空港から10分という東麗開発区の地の利の良さを生かし、大連、青島を含む渤海湾近郊経済圏を中心に事業を展開いたします。また、DAISAN本社とのスピーディーな連携を目指し、DAISAN社内に中国室を設け、インターネットを介してリアルタイムに情報のやりとりを行っています。例えば、デザインのご提案から立ち会い印刷までを日本の品質管理の元で行い、ご確認後の加工を天津で、といった小回りとスピードでクライアントのニーズに応えてまいります。

## ■東京事業所 [東京都千代田区]

## ■大阪事業所 [大阪市淀川区]

# Company Profile

社名 大三紙業株式会社  
 創立 昭和13年1月6日  
 設立 平成15年9月1日  
 資本金 3,000万円  
 従業員 220人  
 代表取締役 松井孝悦  
 事業の目的 菓子・冷菓・チルド・農産物など各種の食品包装資材から、電子工業、繊維製品に至るあらゆる軟包装資材の総合加工と販売  
 本社 豊橋市雲谷町外ノ谷55-1(深田池工場)  
 〒441-3104  
 大池工場 豊橋市向山町伝馬2 〒440-0864  
 平山池工場 豊橋市豊清町比舎古1-53 〒441-3115  
 財務課 豊橋市神明町52 〒440-0882  
 東京事業所 東京都千代田区鍛冶町1-8-1 千代田K-1ビル9F  
 〒101-0044  
 大阪事業所 大阪市淀川区宮原4-4-2-518 〒532-0003  
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 豊橋支店  
 蒲郡信用金庫 豊橋支店  
 豊橋信用金庫 二川支店  
 関連会社 株式会社大三コーポレーション  
 東商化学株式会社  
 東洋キャップ販売株式会社  
 中国:天津大三易得力工業有限公司  
 香港:DAISAN INDUSTRIAL AUTOMATION HOLDINGS LTD.

**1940** 昭和13年 松井源吉個人にて創業。和紙、洋紙、セロファンの販売をはじめ  
 昭和25年 東京セロファン紙の特約店販売をする  
 昭和26年 資本金80万円。法人に改組、株式会社松井洋紙店とする  
 昭和27年 活版印刷機導入。セロファン印刷を始める  
 昭和28年 株式会社松井洋紙店から現商号大三紙業株式会社に改組  
**1960** 昭和36年 3月 軟包装資材加工工場として大池工場建設。グラビア印刷と製版分野を主体とした軟包装材のコンバーターとして業界に進出  
 昭和39年 5月 真空成形機導入、成形部門新設  
 6月 大池工場、グラビア印刷・製版・スリット・製袋・成形部門を完備して軟包装の専門工場として完成  
 昭和42年 6月 資本金2,100万円に増資  
 昭和44年 5月 ドライラミネート機導入  
**1970** 昭和45年 10月 三豊化工(関連会社)設立。エキストルージョンラミネート機導入。ラミネート部門完備  
 昭和47年 6月 資本金3,100万円に増資  
 昭和51年 2月 無公害、環境保全、省資源を目的とした第一期深田池工場完成。グラビア印刷・製版・スリット部門を大池工場より移設  
**1980** 昭和56年 2月 第二期深田池工場完成、ラックビル完成。成形、ラミネート部門統合  
 5月 コンバーターとしての一貫総合製造ライン完成。  
 昭和58年 9月 プーメラン製版システム導入  
 平成元年 10月 平山池工場開設に伴ない成形部門を移設圧空成形機増設  
**1990** 平成2年 5月 広巾8色振分け式グラビア印刷機増設  
 平成3年 12月 東商化学株式会社新設、射出成形分野進出  
 平成5年 1月 真空成形機増設  
 平成6年 2月 コンピュータグラフィック部門完全デジタル化 レーザー製版システム導入稼働  
 平成7年 7月 中国天津に天津大三易得力工業有限公司設立  
 香港にDAISAN INDUSTRIAL AUTOMATION HOLDINGS LTD.設立、海外展開開始  
 12月 新シリンダー用全自動ラック倉庫完成  
 平成8年 4月 メールサーバー導入イントラネット環境構築  
 平成10年 10月 DSNS基幹情報システム導入  
**2000** 平成12年 9月 東洋キャップ製造株式会社、東洋キャップ販売株式会社をM&A取得牛乳ピンのキャップ・ストロー分野に進出  
 平成15年 9月 大三紙業株式会社を社名変更して、ホールディングカンパニー「株式会社大三コーポレーション」とし、事業会社として新しく「大三紙業株式会社」を設立  
 平成17年 9月 東京事業所を千代田区鍛冶町に移転  
 平成19年 11月 本社工場増設  
 現在に至る

